

道 徒 の 聖

一五五五号
一九五八年六月一日発行
第二巻
第二号



1958

6月号

日本聖徒イエス・キリスト教会

聖徒の道

目次

「大管長メッセーじ」	まず神の国と神の義とを求めよ	一頁
「伝道部長メッセーじ」	愛の磐の上に家庭を築け・故ジョン・H・テレー	二
「ジョセフ・スミスの殉教を追憶して」	デビッド・O・マツケイ大管長	三
「ジョセフ・スミスの殉教を追憶して」	オスカー・A・カイボム	四
「GEORGE OF THOUGHT」	恩知らずなことは最大の罪惡の一つ	五
「幕屋としての健全なる肉体」	あらゆる国民への光なる福音・アルマ・ソニー	六
「王の誡命を敬守するのは「盲目的な従順」ではない」	スベン・W・キンボール	七
「賢問欄」	「バプテスマについての誡命の意味するものは？」	八

一九五八年

六月号

「表紙の説明」	ロズアンゼルス神殿	十
「系図のページ」	神殿の仕事促進の為にステーク部の対策	十二
「系図のページ」	ホム・デイトチング	十三
「系図のページ」	系図記録について	十四
「系図のページ」	モルモン経緯語(八)	十六
「系図のページ」	「ニュース欄」	
「系図のページ」	室蘭の支部大会	二一
「系図のページ」	新たに群馬支部誕生	二二
「系図のページ」	横浜支部の発展	二二
「系図のページ」	岡町支部の動き	二二
「系図のページ」	甲府の送迎会	二二
「系図のページ」	伝道本部より	二二
「系図のページ」	日本伝道部の回顧	二二
「系図のページ」	奈良富士哉	二二
「系図のページ」	「詩藻」詩、短歌、俳句、西支部の句会	二六
「系図のページ」	編集言	二九

まず神の国と神の義とを求めよ

デビッド・O・マツケイ大管長



或る有名な作家が「国家の将来は十八才から廿五才までの間の青年の思想によって定められる」と言った。この偉大なM I Aの六月大会の月

大 管 長

メ ッ セ ー ジ

に私が今話しかけたいのは当教会の若人たちである。私の主題は、八福の教えを含むあの驚嘆すべき説教の中にある救主の御言葉で最もよく表現することができる。

山上の垂訓の一部が記してあるマタイ伝の福音書の第六章を結ぶに際し、イエスは「まず

神の国と神の義とを求めよ、然らば凡てこれらの物は汝らに加えられるべし」(マタイ伝第六章三節)と仰せになった。数ある註釈者の中には「これらの物」が第六章中の先の節にあるいろいろの美德を指しているとする人々もあるが、他の人々はすべてイエスの御言葉と同じようにこれを賢明に人類の全般的な生活にあてはめている。私はイエスの一生中に仰せになった二三の御言葉を、神の子供たちの個々の生活にあてはめて言いたい。

イエスは御あとに従った僅かの人々に語りたもうただけでなくまた全人類に語りたもうた。そこで私は、必要なまた有益な他の物はすべてつけ加えられるにちがいないという信仰によって保証されながら神の国と神の義とを求めよというあの訓戒を、われわ

れ、すなわちあらゆる所に居る老若すべての者にあてはまるために受けるのである。智力よりも人生に於て求めるべき一層高いものがある。真の男を造るものはこの一層高い何ものかである。美しい女を作るものはこの一層高い何ものかである。人生の目的は、尽す男の人、愛情に充ちまた愛する者たちのために尽す女の人である。この一層高い何ものかである。人生行路に於て、人が本当に信ずること、人が実際に考へることは人が今生活していることである。世界の人々を変えるためには、われわれはその人々を変えを変えるように説得しなくてはならない。人間は皆その理想の範囲を越えることはない。人間は皆しばしば各々の理想に達することなく、各々の理想の範囲を越えることはない。

○...真の幸福は主の訓戒に従うのみ...

世界の人々の余りに多くは、神の国を求めることに反する。彼等は役に立つように成ろうと求めている。言葉を換えて言うに、生活は動物的の面と霊的の面の二つに分たれる。もしもあなたが動物的であたりを見まわすならば、大ていの人々は霊的世界の欲求よりむしろ動物世界世界の欲求を追い求めていることを見出すに違いない。私は心からこの世の中に於ける真の有益、愉快、喜びを求め、私はまず神の義を求めよというキリストの訓戒に従うことによってのみ実現すると、あなたたちに申し上げる。私は或る時、一人の狩猟用鳥獣監督官が一本の木に糸がつけてあってこれが鳥獣の巣だ、と述べているのに気づいたという記事を読んだ。彼は、この鳥獣の巣をつけて行ってそれが何の意味か見つけようと心にきめた。彼は、しばしばをくぐったり、覆いかぶさっている枝の下を通り抜けた。一杯のことをして進んで行った。そしてとうとうその鳥獣の巣を、だ手の中に持っている一人の狩人に行き逢った。一たいその鳥獣を何にするのかと彼がたずねたときにその狩人は「わしはこの鳥獣の中で道に迷った人たちがあったことを耳にしている。だから、この鳥獣として方角がわからなくなったら帰りの道をみつかる一つの方法は、

必ず持とうと心に決めたのだ」と答えた。

われわれは、みな現在人の道という或いは非常に深い或いはさほどに深くない森の中を進んでいる。中には方角が解らなくなる者もあるが、他の者は賢明にも道しるべをもって居て、人間の交際という迷宮の中でたとえ道をふみ迷ったりまごついたりしても帰り道をみつけることができる。その道しるべこそイエス・キリストの福音とその理想とである。知性よりも一層高い幸福と安全と人格とはその道しるべにつかまっている結果である。もしも私が最も衷心からあなたたちのために願うところを言い表わすことができるなら、私はいたるところに居るあなたたち若い人々に言いたい、もしあなたがたが最高の成功を収め、最も心に安心を得たいならば、あなたたちの日常生活にイエス・キリストの福音の中にある理想を実行せよと。私は何らの修正を加えずにその言葉を述べることをちゅうちよしない。私はその結果が必ず私の示す通りになることをしかと知っている。

○・福音の諸原則を日常生活に・・・

福音の諸原則を日常生活に適用するならば、それはあなたをもっと立派な青年にし、(また、あなたをもっと美しい若い婦人にする)、それはあなたたちの思想が顔かたちを変えるからである。あなたたちの顔かたちは才一等の美しい顔かたちにはならぬかも知れないが、その諸原則は立派な青年と美しい若い婦人とを造るものをあたりに放射するにちがいない。その諸原則は、あなたたちを一層義務に忠実な息子や娘たちにし、一層立派な学生にし、一層誠実な愛人にし、一層望ましい伴侶にし、一層忠実な友人にし、一層役に立つ社会の一員にし、未来の家族の一層立派な母や父とし、またあなたたちを神の息子や娘たちにし、あなたたちが地上に創られた目

愛の磐の上に 家庭を築け

前 七十人会 最高評議員会・員
故 ジョン・H・テラー

それは父母や子供達
・の幸福の破壊に
他ならない。家が愛

と好意と犠牲と寛容との磐の上に建てられていた時、誘惑と誤解の雨が降り、嘲笑とあざけりの風が吹いても、その家は磐の上に建てられていたので依然



砂の上に建てられた家と磐の上に建てられた家のたとえ話を皆様方は御存じであらう。砂の上に建てられた家はいつも危険にさらされている。この家の上に後悔や落胆の雨が降り、不和や疑惑の風が吹く時、家は倒れ、その倒れは甚だしいものとなる。確かにそれは父母や子供達

的を成就するに当って一層 成功を収めさせるにちがいない。
「まず神の国と神の義とを求めよ。・・・而してそれは一みたま」の果を奨励することと、考えることと、実行することによって為される。
「されどみたまの果は愛、喜悅、平和、寛容、仁慈、善良、信仰、柔和、節制なり。かかるものを禁ずる律法はあらず。われらみたまによりて生きなば、みたまによりて歩むべし」 (ガラ

として建ち続く。私はよく私の父がどうして自分の家から他の所に移りたくないのかといふかった。父の家は大きな家であった。そして家族の殆んどは結婚しその家を後にしていた。私はどうして父がその家を後にしてもっと小さいところをみつけないのか不思議に思った。
しかし私は後になって人生とは如何なるものかを知った時に父の氣持を知る事ができた。久しき以前に父はこの家に妻をつれてきたのであった。
そしてその家で子供達が産ぶ声をあげまたその幾人かは他界していった。その家から息子達は福音を宣べ伝えるべく、伝道に遣わされた。そしてその中の一人は母の手によって運ばれ、山腹に葬られた。父は木々を植え、また家を改造した。確かにその家は父の愛と父の確信とによって建てられたのであった。

テヤ書、五章廿二節―廿三・廿五節)

もしもあなたがキリスト教の理想に忠実ならんとするならば、あなたは自己に忠実ならんとする、またあなたの生涯の道しるべである正直、淑徳、純潔という靈の理想に忠実ならんとする、すなわち日常生活に於てこれらの理想に従うことによってあなたの身にも靈にも幸福と平和とをもたらすのである。私はあなたたちがそうすることによって一層幸福になるにちがいないことをしかと知っている。あらゆる喜び(私は快樂の代りに喜びと言っている)とあらゆる幸福はこれらの理想に従うことによってあなたたちのものになるであらう。そしてこれらの理想をいつまでもつづかせ、あらゆる青年男女の心の中へ次々に教えこむために M I A のみならずまた当教会それ自身も樹てられているのである。

伝道部長メッセージ

ジョセフ・スミスの

殉教を追憶して

ボール・C・アンドラス伝道部長

千八百四十四年の六月廿七日、ジョセフ・スミス(二代目)と彼の兄ハイラム・スミスとは、アメリカ合衆国イリノイ州カーセージで無法な暴徒の手によって無残にも殺されました。六月の廿四日、ジョセフ・スミスは、彼と彼と共に居た人々に対して起された告訴に就いて充分な調査ができるまで確かに保護をすると約束したイリノイ州



の役人に自ら進んでかん禁されたのでありました。ジョセフ・スミスたちは何らの犯罪を犯さず、従って彼らに対して起されたあらゆる訴えはみな絶対にくそでありました。ジョセフ・スミスが法官の偽りの要求にその身を引き渡そうとしてカーセージに赴いた際、彼は

「私は今はふる者の所へ引かれる子羊のように行く。しかし私の心は夏の朝のようにおだやかである。私の良心は神に対してまたすべての人に対していささかの咎めもない。私は罪なくして死ぬにちがいないが、世の人々は、彼は残忍な者の手に殺されたと言うにちがいない」と語りました。

六月廿七日の午后五時をすぎてもなく、多くの者がその顔を黒く塗った百五十人から二百人の者たちが、ジョセフ・スミス、ハイラム・スミス、ジョン・テラーおよびウイラード・リチャードらが二階の一室に閉ちこめられていた獄に殺到しました。その獄の看守たちは、獄に突入して発砲しながら二階へ殺到する暴徒たちをさえざることをしませんでした。ハイラム・スミスが最初に撃たれ「やられた」と叫んで床に倒れました。

その時ジョセフ・スミスは、窓から飛び降りて同じ部屋の中に居た者を助けようとして建物の内外から暴徒らの銃撃を受けました。そして、暴徒らは、ジョセフとハイラムがもう死んでしまっ

てからも引きつずき二人の体に銃丸を打ちこみました。一方ジョン・テラーも四度うたれてひどくけがをしましたが、その傷がなおってついにわが教会の三代目の大管長になりました。またウイラード・リチャードは、一発耳をかすただけで奇蹟的に危害をまぬかれました。

○・・・スミスは何故殺害されたか

ジョセフ・スミスは、父なる神とイエス・キリストとが彼に親しく姿を現わしたもうたと主張したので無残にも殺されました。ジョセフ・スミスは、イエス・キリスト御自身が彼に向って当

時の教会は皆間違っているからどの教会にも加わってはならないと仰せになったとはっきり言ったので殺されました。

ジョセフ・スミスは、一人の天使が彼を訪れてイエス・キリストの福音が完全なまま載っている金版に誌した古代記録を授けたと主張したので殺されました。

ジョセフ・スミスは、バプテスマのヨハネ、ペテロ、ヤコブおよびヨハネの四人が彼を訪れて神を代表する権能を彼に授けたと主張したので殺されました。

ジョセフ・スミスは、末日聖徒イエス・キリスト教会が神の真の教会であって、将来必ず進んで行って全地を充すにちがいないと断然主張してゆずらなかったから殺されました。

これらの主張はみな本当であって、ジョセフ・スミスはこれらが本当であることをしかと知っていましたから、自分の生命を救うために本当でないと言ふことを拒絶しその結果無残にも殺されました。

○・・・貴方の証詞はどうですか。あなた

は神の存在が現実の事実であるという証しを受けていますか。あなたは、あなた自身とすべて他の人たちに向って、父なる神と御子イエス・キリストが現実にジョセフ・スミスを訪れたもうたことをしかと知っていると正直に断言できますか。あなたは、末日聖徒イエス・キリスト教会が全地の上に在る神のただ一つの真の教会であると確信していますか。もしそうでなければ、これによってあなたがこの極めて貴い知識を得るに必要な努力を出すように忠告をいたします。偽りたまわぬ神は、心から熱心に真理を求める人はすべて真理を見出すに違いない

と約束をしておいになります。祈りと勉強と善行とを通して、あなたもまた末日聖徒イエス・キリスト教会が本当の教会であるというあなた自身の知識を受けることができます。もしも、あなたがすでにこの貴い知識を授けているならば、あなた



私は考える。何故ならば真理の中に留ることを拒むすべての人や、イエス・キリストが与え給うた誠命の光と理解とにそ

って歩まない人はすべて恩知らずな人

に他ならないからである。主は我々をその

罪とがより贖うため、この世に來り給い、その生命を捧げ給うた。実に主は十字架にはりつけられ給い、その血潮を流され給うたのである。何故であったか。何の爲であったか。それは我々が生きんがためであり我々がその罪の赦しをうけんがためであり、また福音の原則に従う事により父なる神と御子イエス・キリストの御前に再び立ち帰る事ができるようにせん

がためであった。

主は死ななくてもよかった。しかし主は自ら進んで死に給うたのである。主は生命をふたたび得んために生命を捨て給うたのである。何となればそのようにせよとの誠命を御父よりうけ給うたからであると明らかに述べて居られる。「人これを我より取るにあらず、われみづから捨つるなり。我は之れをすつる権あり。またこれを得る権あり。我この命令をわが父より受けた」と主は仰せになって居られる。皆様方は、私

恩知らずなことは

最大の罪惡の一つ

ジョセフ・フィールディング・スミス長老

達が復活に与り得、また福音の原則に従う事によって罪の赦しを得る事ができるよう、更に私達が御父と御子との御前にて最高の榮に進む事ができるよう、神の御子なる私達の救主が経験し給うたその苦しみ、即ちその身と靈との痛苦の極みをはかり知る事ができるであらうか。果して我々は救主のなし給うたこれらすべての働きの意義を悟っているであらうか。(十一使徒會長)

たの証しはあなたにとってどれほどの意味がりますか。もしも二百人の武装した人々から成る一隊の暴徒が、あなたがこの教会を本當の教会だと証しをしたと言うのであなたを殺すと決意をして殺到して来たなら、あなたは喜んであなた自身の血であなたの証詞を結び固めようとするでしょうか。或いは、あなたは自分の生命を救うためにあなたの証詞を否定するでしょうか。もしもあなたがこの教会のために喜んであなたの生命を捨てないならば、この教会の本性について正確な理解を有っても居ないし、またあなたはこの教会の会員としてふさわしくないであります。

以上の言葉は、おそらくある人々にとって苛酷なまた誇張された言葉であると思えるかも知れません。しかし、もしあなたがそのように感ずるならば、どうぞ教義と聖約第百三章第廿七および第廿八節の

「何人もわが為に生命を捨つることを怖るなかれ。わが為に生命を捨つる者は再びこれを得なければなり。また何人にまれ。わが為に喜びてその生命を捨てざる者はわが弟子にあらず」という御言葉をよく考えて下さい。

○・・・隣人に良い模範を示しましょう・・・

おそらくいつかあなたは教会の為に生命を捨てて、あなた自身の血で証詞を結び固めるように、求められるかも知れません。しかし今の時代に於てはあなたは多分教会の為に死ねと求められないでしょう。もしも私たちが教会の為に死ねと求められないならば、教会の為になるように生活しようではありませんか。私たちの有っている貴い証詞の意味を、もう一ぺんふり返ってみようではありませんか。私たちの時間と私たちの才能とすべて私たちの有っているこの世の持ち物とを、神の王国をうち建てる目的で捧げるためにこれらの証詞から力を引き出そうではありませんか。私たちはいつも純潔を守りましょう、隣人に対して全く正直に振舞いましょう、十誠を守りましょう、完全に「什分の一」を納め惜しみなく断食献金を納

めましょう、智慧の言葉でも厳密にまた公然と守りましょう、教会のプログラムと活動とを全力を尽して支持いたしましょう、系図の働きを熱心にいたしましょう、いつも隣人の前が良い模範を示しましょう、そして休みなく福音を他の人々に宣べ伝えましょう。以上のことをすることによって、私たちが隣人と私たちの神とを本當に愛することを実際に証明して見せることができます。以上のことをすることによって、私たちが本當に主の弟子であり、末日聖徒と呼ばれるにふさわしいことを実際に証明して見せることができます。

「主の予言者にして聖見者なるジョセフ・スミスは、ただイエス・キリストを除くのほか、この世に生を受けたる何人よりもこの世に於ける人類の救いに尽したり」(教義と聖約百五十三章三節) この六月中、私たちは、この偉大な予言者ジョセフ・スミスを通して完全なまま回復された福音の教えをことごとく実行すると新しく決心をして、ジョセフ・スミスが殉教したことと神聖な追憶を記念しよりではありませんか。

GEMS OF THOUGHT

「幕屋として健全なる肉体」

前七十人会最高評議員会会員 故オスカー・A・カーカム長老



私は皆様方に一つ、二つの日課を提案致したいと思えます。実にこれらの日課は今日迄私に種々助けとなつて参りました。最初の事は、毎日もし私達が教会に於て指導者としての責任を果そうとするならば、私達は私達自身の健康を護ると共に健康を増進するために何事かをす

べきであります。私達の体は霊の幕屋であります。ですから私達は幕屋である体を清潔に保ち、しかも力のあるものにするためになし得るあらゆることをすべきであります。如何なる年令層に あつても私達は毎年、身体検査をうけ、それから医者 of 助言と勧告とに基きある種の簡単な体操かまたは私達に合った屋外での運動をなすべきであります。

今一つの事は毎日教会の標準聖典をひもとくとき少くとも十五分から三十分の間読む事でありま。これを習慣づけて毎日毎日行うところに価値があるのであります。一時に二時間の間、聖典を読むよりもこの方が一段と価値があるのであります。私達は聖典の才一印象に止らず、聖典の云わんとしている核心に迄達するよう深く入って行かねばなりません。私達は核心にふれるところまで究めていって始めてそこで真に迫る真理を見出す事ができるのであります。

子供の生活を見守って来た私自身の永年の体験より私は「一日一善」をなすよう、提案したいと思ひます。私はこれを大人の方々に申し上げているのであります。神権を持った指導者として毎日よき行いをするというこの奉仕の氣持をもって生活して行くよう、そしてある簡単な親切な行いを實際にする事によってこの行いを必要とす

福音を感じる事ができるようにお願いしてゐるのであります。

最後に私は皆様方に少くとも毎日、一度は「心からなる祈り」を捧げられるよう提案致したいと思ひます。

あらゆる国民への

光なる福音

十二使徒会補助 アルマ・ソーニ長老



人々にあまねく光を及ぼすという事は教会員の責任である。イエスは世の光である。イエスの福音はあなた

方と私の人生行路を導く燈台の光である。

イエスはある時に「...その審判は是なり。光、世にきたりしに、人その行為の悪しきによりて、光よりも暗黒を愛したり」(ヨハネ三章十九節)と仰せになった。また主は斯のごとく汝らの光を人の前にかがやかせ。これ人の汝らが善き行為を見て、天にいます汝らの父を崇めんためなり」(マタイ伝五章十六節)ともさとし給うた。

私は委任された偉大なる活動計画を遂行している当教会は、現に確かに世界中至るところにその光を發散していると考える。

予言者ジョセフ・スミスを通して与えられた啓示に「わが教会は、末の世に於て須らく末日聖徒イエス・キリスト教会と称えらるべし。誠にわれ汝らすべてに告ぐ、汝ら起ちて己が光を輝かせ。これ汝らの光よるすの国民のはたじるしとならんためなり」(教義と聖約百十五章四節一五節)と述べられてゐる。

私は教会がよく確立されて居らずまた今日のようによく組織もされていなかった初期の時代に与えられた、この啓示のそのものずばりな、大胆な云い廻しをあなた方が把握されていらしやるかを知りたい氣持である。然しなおも主はその僕を通して「汝ら起ちて己が光を輝かせ。これ汝らの光よるすの国民のはたじるしとならんためなり」(教義と聖約百十五章五節)と仰せになり給うたのである。

...今日迄教会は種々偉大な事柄を成就して来たがしかし多々問題を抱えている現在の世情を見る時なすべき多くの事柄があることが知られる。

欠点を見出すより容易なことではない
不平をこぼすのに如何なる才能も

自己否定も

頭腦も性格をも必要としない

ロバート・ウェスト

主の誠命を厳守するは

「盲目的な従順」

ではない(中)

十二使徒会會員

スベンサー・W・キンボール



罪人が刑に服するのは盲目的に従うのであります。それは強制によるからであります。殆んどの事が彼の為に決定されているのであります。或意味で独裁者に従属する者に対照されます。彼等の仕事、誤業、宗教、及び其他の活動は支配され統制されています。ここに盲目的服従があるのであります。

四十二世紀前に、族長ノアが箱船を建設したとき、または二十五世紀前に予言者ニイフアイが舟を造った時、それは盲目の信仰ではありませんでした。各人とも主によって海に浮かぶ機具を建造するように命ぜられたのであります。一つの場合には未曾有の降雨となり、他の場合は大海を越える事となったのであります。両方の建設者とも、この新しい冒険に指示を与え得るような経験は有りませんでした。主よりの指示を除いて建設の基礎となるものは何もあ

りませんでした。ここには盲目的服従はありませんでした。各人とも神の善意を知り、神はその不思議に見えた命令の中に目的を持って居られることをも知っていました。そこで各人とも広く眼を見開いて、全き自由意志(選択の自由)を以て信仰により建設したのであります。ノアの家族は、肉体的溺死と霊的頹廢から救われ、ニイフアイの民も同様に救われたのであります。劍も鋸も飢きんも疫病も、ローハイ人たちを青草の繁茂する海岸から駆り立てる事は出来ませんでした。けれども従順なることが彼等を導いて地図にもない海を渡らせたのであります。主は約束されました。「汝わが命令を守らば、われは汝を榮えさせ、約束の地に導くべし。まことにこは、汝のために備えたる土地にして、まったくいかなる土地もはるかに及ばざるほど優れたる土地なり。」

信仰と確信によってもたらされた従順さにより船は完成し、積載し、出帆したのであります。

ノアの行動には強制も、盲目的服従もありませんでした。この神の人が彼の家族を救ったところの船を造っていた時、雨は降っていませんでした。完成した後、暴風雨の前に一週間の乾燥した天候が続きました。神の能力と絶対性への証詞のうちに従順が生じたのであります。そしてノアの信

頼は義とせられ、種族は永続することが出来たのであります。

人々がすべて信仰及び従順を盲目と言うなら、その人たちは自分自身の弱さを覆いかくそうとしているのではなからうか? 彼等自身が聞き従うことに失敗した言いわけを探し求めているのではなからうか?

人は厳格に所得税法に従って完納し、また財産税を期日前に支払います。けれども安息日や期日に什分の一支払いの律法を無視して、何事もないかの如く平然としています。一つの場合は彼はただその身の自由を剝奪されるか或は家屋財産等の資源を失うかであります。けれども、他の場合は彼は靈魂の喪失にその扉を開いているのであります。肉体的と同様に靈的刑罰は必ずもたらされるのであります。根本的な相違は刑の迅速さであります。主はかくも辛抱強く忍耐されるのであります。人は前者を盲目的服従とは言いません。けれども靈的な誠命に対しては、そのように思っています。

学生が授業料を払って指定されたテキストを読み、クラスに出席して、彼の教養を高める事は、盲目的服従であらうか? 恐らく彼自身、卒業の為に異なった、容易な標準を設定する事が出来たであらう。けれども彼はその含蓄のすべてを理解して、いかに拘らず、カテゴリーのすべて

の要求に従う。

「高圧電氣危険」と言う記号に注意する事は盲目的服従であらうか？それとも危険を知っている専門家の判断を信じての従順であらうか？

小さな子供が大喜びで机から、にっこりほくえんでいる父の強い腕にとび込むのは、盲目的服従であらうか？それとも子供をつかまえる確信を持ち彼自身の生命よりも、その子供を愛している親に対する絶対的信頼であらうか？

病人が医者の方箋によって苦い薬を飲む時、また貴重な自分の体を外科医のメスにまかせる時、それは盲目の服従であらうか？それとも、これは安全に信頼出来る人を信じて従うことであらうか？かじ手がその船を暗礁の記号である浮標の間を導いて、深い水路を通過して行くことは、盲目的服従であらうか？それともこれは、船を保護するように考案してくれた人々の誠実さに対する信頼であらうか？

然らば我々が我々の限られた視界、初步的知識、利己的望み、不純な動機、肉体的衝動を以て、我々を生み我々の為に世界を造り、我々の為に建設的計画をし、完全ですべての子供に不死不滅と永遠の生命をもたらし事を最大なる喜びとし榮えとしている我等の愛する父の誠命に従い

指導に服する時、それは盲目的服従であらうか？

盲目的服従は組織化の中に独立した自由意志が存在しない場合であります。けれどもその機を通じて与えられるすべての主の誠命は強制されません。或人は罪の宣告の脅迫があり、刑罰が課せられている処には自由意志はないと抗議します。福音を拒む事により罰せらるべきことは或人にとって酷であり、自由意志を奪う如く思われるでしょう。けれどもこれは真実ではありません。何となれば、決心は我々のものであるからです。我々は受入れることも拒む事も出来ます。それに順応することも無視する事も出来るのであります。

質問欄

バプテスマについての

誠命の意味するものは？

「質問」

研究中イエスがニコデモに云われた「人、水と霊とによりて生れずば神の国に入る事能わず」という御言葉について質問が生じた。即ち、この御言葉はイエスの時代から今日に至る迄の世界に与えられた誠命を意味するものか、若しくは、時のはじめより

我々の生涯の活動に於て、我々は同様に大学に行く事も、行かない事も出来ます。我々自身を勉学に適応させることも、時間を空費することも出来ます。我々にすべての要求を成就することも無視することも出来ます。決心は我々のものであり、その意志は自由であります。

我々は医薬を用いる事も、下水溝に捨て去る事も出来るのであります。我々是我々の肉体を外科医にまかせる事も、彼の奉仕を拒む事も出来るのであります。我々は道に従うことも密林に迷いこむ事も出来ます。けれども、我々は律法に従わぬ罰を回避する事は出来ないであります。

存していた誠命であつたかという質問である。

「解答」

罪の赦しのためのバプテスマはアダムの時代よりこの方神の国に入り度いと望むすべての人たちが与らなければならない福音の儀式である。

我々はみな創造されたすべての地球に住む人間一人一人にこの儀式が与えられている事を信じている。事実、福音の各原則及び儀式は人間の救いのために要求されて来た。

旧約聖書中にバプテスマについて語られていない理由は若干ある。「才一の理由」は、バプテスマという言葉がギリシヤ語で「浸す」という意味であるという事である。旧約聖書はヘブル語で書かれた故、バプテスマという言葉は原本に見出されない。しかしながら、洗う事、清める事という意味で旧約聖書中に使用されている言葉がある。ソロモンの神殿にあった浸礼盤は、明らかにこの目的のために使われていた。

「才二は」長い年月の間、学者たちは忙がしくこの聖書の原本より「写し」を作り、若干の変更をしてしまった。今日の世界には聖書の原本はどこにもなく、省き取られた所もあったであろうという事は容易に想像され得る。

「才三は」、身体を水に浸すバプテスマを受け入れない学者たちにこの聖書が手渡されたため、その他の誤謬が聖書中に生じて来たという事である。特に主の便より「一フアイ」に啓示された事がこの点を明らかにしている。「一フアイ」は次のように書き誌している。

「汝はその遺物がユダヤ人から出てきた

のを見たが、始めそれがユダヤ人から出てきた時には、その中にある十二使徒が神の子羊にある真理によって証をした主の福音が誰にもわかるままにのっていた。それであるから、これらのことは神に在る真理によつてユダヤ人から異邦人に純粹なまま伝わる。しかし、これらが子羊の十二使徒の手によつてユダヤ人から異邦人に伝わってから、汝にはあらゆるほかの教会に勝つて憎むべき大教会の基が見えるが、その教会が憎むべきものとは、誰にもわかる非常に貴い多くの部分を子羊の福音から取り去り、また主のなしたもうた多くの誓約を取り去ってしまったからである。かれらがこれをしたのは、主の正しい道を曲げて人の目を暗ませその心をかたくなにするためである。

(「一フアイ」一書十三章二十四節―二十七節) (二十八節及び二十九節も参照せよ)

...バプテスマ―根本原則...モルモン経を見ると、罪の赦しのためのバプテスマがリーハイの時代から彼らの全歴史を通じて「一フアイ」人の間で福音の根本的な原則であったという事を知る事が出来る。リーハイの子ヤコブは、イエス・キリストの使命に関するすばらしい説教の中で次の様に述べている。

神はすべての人に向つて、汝らはイスラエルの聖者を全く信仰して悔い改め、神の御名によつてバプテスマを受けよ。さもなければ神の王国には救われないと仰せになる。よつて、もしもすべての人が悔い改めて神の御名を信じ、その御名によつてバプテスマを受けることなく終りまで忍ばなければ必ず救われないのである。イスラエルの聖者、主なる神がこう宣たもうたからである。」(「一フアイ」二書九章二十三節―二十四節)モルモン経の中には至る所に罪の赦しのためのバプテスマの儀式に就て書かれてある。

...バプテスマの目的...高価なる真珠にバプテスマの目的がアダムに次のように教えられている。

「この故に、汝らの子らに教えよ、すなわちすべての人は何処にあるものとごとく悔い改めざるべからず。然らざれば彼ら決して神の王国をつぐこと能わず。汚れたる者は王国に住むこと能わず、すなわち神の御前に住むこと能わさればなり。アダムの言葉にて「聖なる人」とは神の御名なり。神の御名は「人の子」なり。

これはすなわちイエス・キリスト、義しき判士にして「時の絶頂」に来るべし。故

にわれ汝に一つの誠命を与えてこれらの事を汝らの子らに自由に教えしむ。曰く、罪によりて墮落は来れり。その墮落によりて死は来れり。汝ら水と、血と、わが創りし霊とによりてこの世に生れたれば、塵よりして生ける「霊の結合体」になりぬ。されば、誠に汝ら水と「みたま」とによりて再び生れ、わが生みし独子の血によりて清められて天の王国に入らざるべからず。かくして汝らすべての罪より清められ、この世に於て永遠の生命の言を受け、来るべき世に於て永遠の生命、まことに不死不滅の栄光を受くるなり。そは汝ら水によりて誠命を守り、「みたま」によりて義とせられ、血によりて聖めらるる故なり。

(ヨハネ伝五章四節一八節と比較せよ)
故に、アダムはバプテスマを受け、神の「みたま」が彼に下り、かくして、彼は「みたま」によりて生れ、内なる人に於て生かされたり。という事を知る事が出来るであらう。

(モーセの書六章六十五節)

バプテスマのヨハネが悔改めを叫び、従う者にバプテスマを授けるために荒野に来た時、彼の態度は、何かしら新しい、奇妙な教えを紹介しているかの如き好気心を人々の心に持たせた。悔い改めたユダヤ人

たちはそれを自分たちによく知られた本質的な儀式であると考え、これに誤りはなかったのであったが多くのユダヤ人の著作家は、バプテスマは古代イスラエル人の儀式であると主張したのであった。こゝにこの事実を裏づける二三の言葉を示す。

「キリスト教のバプテスマの起源は確かではない。．．．恐らくユダヤ教の改宗者のバプテスマがその形式を示し、それをキリスト教の宣教師が模倣したのであらう。．．．」

「ヨハネは古代の予言者たちの精神に従い、水による洗ひ清めによって象徴される悔改めのバプテスマを説き明かした」。

(エレミヤ記四章十四節 エゼキエル書三十六章二十五節、ゼカリヤ書十三章一節を見よ)

「ラビの教えによると（これは神殿が存在していた間はびこっていた教え）、バプテスマはかつら及び犠牲に次ぐものでユダヤ教の改宗者にとって欠くべからざる一条件である。．．．」

「ユダヤ教の考えと一致しないバプテスマの唯一の概念は、ヨハネの『我は水にて汝らにバプテスマを施せり。されど彼は聖霊にてバプテスマを施さん』という事である」(マルコ伝一章八節、ヨハネ伝一章三十三節)
一八四二年、九月一日の「タイムズ・エ

ンド・シリーズ」に載せられた記事の中で。予言者ジョセフ・スミスはバプテスマに就て左のように書いています。

「この世のはじめの頃、救主がまだお生れにならない前に於ては、聖徒たちは来るべきイエス・キリストの御名によってバプテスマを授けられた。何故なら、この他に彼らが救われるために頼り得る御名は無かったからである。イエスがこの世に来られ、十字架にはりつけにされてから、聖徒たちは十字架で死んで再び死より復活して昇天したイエス・キリストの御名によってバプテスマを受けた。これは彼らがイエス・キリストの如く、バプテスマによって埋められてキリストの如く栄光の中によみがえるためである。誠に主は一つ、信仰は一つ、バプテスマは一つ、すべての父なる神は一つにして、幸福の家に入るための戸も一つである。

アーメン

表紙の説明

ロスアンゼルス神殿

「時の経過に伴って主の神殿から、太平洋の岸が眺められるようになるであらう」この予言的メッセージはブリガム・ヤン及びウィラード・リチャードが一八四七

年八月、ソルト・レークの盆地からカリフォルニアの聖徒たちに送った、靈感された、激励の手紙の一部である。其後、百年たつて、ロスアンゼルス神殿が完成された。聖徒たちの祈りは答えられたのであった。彼等の労働は報いられ、彼等の犠牲は結実したのであった。

その場所がロスアンゼルス西方郊外に位置し、その高さが一階から塔のせん端二五七呎もある為、二十五哩離れた海上の船から見られまた其他の近郊地帯から見ることが出来る。

その土地（二四・二三エーカー）は一九三七年三月に、有名な映画人ヘロルド・ロイドから買ったものであった。その時エドワード・O・アンダーソン兄弟が、實際の設計をする前に先づ最初に建物のスケッチを始めたのであった。

くわ入れ式は一九五一年九月二十二日にデビッド・O・マツケイ大管長の指示により行われた。ジョセフ・フィルディング・スミス十二使徒会長、リグラント・リチャーズ管理監督及び大管長の補佐である副管長たちも出席した。フレッチャー・ボウロン市長がロスアンゼルス市を代表した。

人々は総額のうち適正なる彼等の分担と見做される分の献金を要望された。直ちにそれ以上の応募があった。一九五二年の四月の大会にステーク部長会は大管長会に対し

彼等が、金一、六四八、六一三、一七弗（五九三、五〇〇、七四一、二〇円）の現金及び保証書を受取ったと報告した。義務と呼ばれる以上の犠牲的また献身的な話しが限りなくある。小さな子供たちが神殿建設を助けるため、彼等の貯蓄を全部引き出し、彼等の手当てを捧げた。十代の数千の人達が彼等の必要な欲しい物を断念して、気前よく与えた。或家庭では家の改善を延期しまた他の人たちは古い自動車を更に何年か使うことに決めた。また他の或者たちは休暇の為のお金を献金したのであった。

一九五二年の八月に重量車がその場所に移動して行つて発くつが開始された時は歓喜の日であった。

建物の中で主の業がなされるばかりでなくその建物の故に生きた人の間に於ける伝道の機会が非常に大きいのである。

一九五五年の三月に情報局が開設されてから、その執務時間中に五五、六〇〇人の訪問者があった。彼等のうちサンタ・モニカ通りをドライブした多くの者が、その建物及土地の荘厳さと、美しさに驚嘆し、印象づけられ、立止って建物の名を聞かざるを得なかったと報じている。

アメリカの全海岸地から教会員でない驚異的多数の人々が来て建物の中に入れないのを残念がって、若し神殿が訪問者に開放されるなら知らせてくれと彼等の氏名と住

所を残して行つた。ニューヨークの人は太平洋岸に出張することがあるなら神殿が開放されている時にしたいと言った。ロスアンゼルス神殿はデビッド・O・マツケイ大管長により一九五六年三月十一日から十四に亘つて献堂された。



系図のページ



神殿の仕事促進の為のステーク部対策

親愛なるステーク部長及びステーク部員 励される。

ステーク部系図委員会会長

私たちは貴方がたのステーク部

内の系図の探求増進の為貴方がたが確乎たる効果的な処置をとる事を決定されたと知らせして下さい。そののに対し心から感謝します。その

ような熱意ある指導精神は必ずや望ましい結果をもたらすでしょう。

提案された中に次のような項目があります。これ等を私たちは

貴方がたに公式に推薦致します。

(一) 毎月「探求日」として二日を選

び、この二日間にステーク部の全

会員は次の事を実施するように奨

a、ファミリ、レコード（「ペ

ダイグリ、チャート」「フ

ファミリ、グループ・シート」「

「パーソナル・ヒストリ」

を作成する

b、系図の情報に就て親戚又は

其の他の人と通信する

c、ホーム、テイティングの訪問

をして、他の人に記録と探

求に就て教える

d、探求の講習会に出席する

e、系図図書館で探求に従事す

る

(二) ワールド部に於て記録保存と探

求の為に捧げられた時間を計算し、得られない、国会図書館、官文庫
確実にワールド部系図委員会の書記
に通報する。書記はこの合計を四
半期報告書の裏面に「記録保存と
探求に費された時間——」との見
出しで報告する（新しく報告用紙
が印刷される時は、この欄を新し
く設ける）
(三) ステーク部長署名の手紙を、す
べての高等評議員、監督会及びワ
ールド部系図委員会会長に送り、系
図探求を最高に促進するよう最善
を尽すように督促する。

そのような手紙がワシントン・
ステーク部長会によって送られて
来ました。その中から私たちは次
のような引用文を見ます。

「私たちは同封のジョセフ・フイ
ールデング・スミス会長及びア
ーナル・F・ベネット兄弟の神

殿に於けるエンダウメントの働ら
きの為の氏名が不足した手紙に貴
方がたの注意を向けられるように
呼びかけます。この通信の緊急さ

は私たちに大きな関心をもたらし
ました。ワシントン・ステーク部
は、この問題の解決に協力するの

に最も有利な地位に在ります。こ
れは国内の他のどの系図委員会に

も、得られない、国会図書館、官文庫
其の他の探求施設に近接している
ことであります。私たちは、ステ
ーク部内の会員たちに彼等各人の
系図計画を再検討して、此の重要
な働らきに最善を尽すようにす
めます。私たちは私たちの能う限
りに於て、神殿の仕事が氏名の不
足の為に制限され、又は縮小され
る事のないよう努めねばなりません。
ぬ。

私たちは貴方がたが特にその注
意を「受理され得る記録の提出」
に就ての声明に向けられるように
呼びかけます。この点に關し、ス

テーク部、神殿及び系図委員会は
貴方がたが貴方がたのワールド部の
会員たちに、これ等のシートを索

引局に出す前に、訂正の為ワールド
部及びステーク部系図委員会を通
すようにすすめるように望みます。

この事はまたワールド部及びステ
ーク部委員会をして、その活動に於
て、より正確な報告を提出せしめ
得る結果となります（そのような

シートは検閲されて一週間か二週
間以内に系図協会の記録事務室に
提出されねばならない）。

私たちは貴方がたが貴方たちの
ワールド部内の会員たちが此の

の重要性を自覚して前述したような協力をする事を確得するような適当な処置をなされる事を感謝するでありましょう。

この緊急重要な問題に対する貴方たちの迅速且つ完全な協力は厚く感謝されるでしょう。

(四)委員たちがホーム・ティーチングで援助的指示を与えられるようにする為資格ある教師を以て、記録保存と探求の基礎訓練をほどこす目的で各ワード部に正規の系図探求講習会を組織する。ワード

部系図委員長及び一人の副会長は、ワード部一覽を備え、また訪問すべきすべての家庭を、その各家庭が如何なる探求を為しつつあるか、如何なる特別な問題にぶつかっているか、彼等の探求に如何なる援助を必要としているか等の特別の註を記したファイルをつくるべきである。ホーム・ティーチャーはこれ等の家庭に指名さるべきで、彼等は其処で必要な特別の援助を与えることが出来る。

(五)貴方たちの社会で経済的に祝福されている人たちは、彼等が究極に於てその先祖たちに結び固められるよう、神殿の仕事がなしとげられるよう、彼等の先祖の系図を

集める為、適当な基金を出すようにすすめられる事が望ましい。

兄弟たちよ、私たちは若し貴方たちがこれに最善を尽すなら、神殿の仕事の為の氏名に関する状態は大いに改善されるであろうことを確信致します。

系図協会長

ジョセフ・ワイルディング スミス

総書記

アーチバルド・F・ベネット

ホーム・ティーチング

定義

ホーム・ティーチングはワード部の系図委員が彼等のワード部内の各家庭を訪問して、家族の者たちが間違いない記録をつくるように手伝い、また家族の者たちが自身の先祖の系図の探求と神殿の仕事に活動的であるように鼓舞激励する。

準備教育

ワード部系図委員会が組織されたらすぐ会長は委員会の委員たちを定期的に召集して準備集会を持ち、其処で彼等にホーム・ティーチングの技術を教える。この準備教

育の期間はホーム・ティーチングを始める前に、そう長期に亘る事を必要としない。基本教育を受ける間は委員たちは週に二度か三度、少くとも一度は集会する事が望ましい。その後には少くとも二ヶ月に一回は集会して、彼等の問題を討論し、環境に則した教育を受けべきである。委員たちは日曜学校系図のクラスで教えている二ケ年間の教課を学んでいると非常に有利である。そのテキストの中の教課は、ホーム・ティーチャーにとって価値ある手引きとなり、直面するであろうところのいろいろな状態の模範を示してくれる。

提案された教育要領

ホーム・ティーチャーが彼のワード部の会員たちの家を、系図の教師として訪問する責任をよく果たす為に、次に列挙するような前述の準備教育が提案される。

オ一課、系図及び神殿の仕事の教義的背景(資料として完成への道を見よ)

オ二課、系図(後章で詳述)

オ三課、家族の記録及び最初の準備

オ四課、個人の記録

オ五課、神殿出席と指名
オ六課、探求の初歩
オ七課、探求の標準
オ八課、ホーム・ティーチングの効果的実施法

オ九課、系図協会の援助
オ十課、通信による探求、

系図委員会長の判断により勉学の為に此のハンドブック、系図探求の指導及び其他の根源から上記以外の主題を取上げてよい。けれども若しそのような追加された主題を取扱う時は、実際のホーム・ティーチングと同時に進行することが望ましい。

ベティグリーチャート

先づ貴方自身の名をオ一線上に必要事項と共に記入し、貴方のお父さんをオ二線上に、貴方のお母さんをオ三線上に、父の父をオ四線に、父の母をオ五線に、母の父をオ六線に母の母をオ七線に、このようにして貴方が必要事項を記入する事が出来る限り遠く遡る。系図は完全な記録ではない。けれども寧ろ貴方の家族の記録の索引となるのである。

その上には系図の探究をなすべき各家系を形成する、すべての貴方の知っている先祖の名が挙げら

れている。

ファミリ、グループ、シート

この表の一つは貴方自身の直接の家族組の為に備えねばならない。またすべての結婚した貴方の子孫の為、及び貴方の系図表に記載されているすべての結婚せる先祖、即ち両親、祖父母、曾祖父母等である。記録はまた系図の表に記載された直接の先祖の如何なる人から出た子孫の家族をも含む。氏名と年月日と場所と情報の出所を完全に記す事が大切であり、またこれ等の資料は明瞭に正確に、その為に設けられた欄にタイプされるか又は記入されねばならない。

パーソナル、レコード、シート

教会のすべての会員が彼の生涯に於て受けた儀式を教会の記録の上に於けると同様、家族の記録の上に適正に記録せねばならぬ事を認識する事が大切である、すべての福音の儀式は迅速に永久的記録の上に記録せねばならない程重要なのである。

このように教会のすべての家族が勤勉に忠実に家族全員の祝福、バプテスマ、按手礼、神権の聖任、エンダウメント、結び固めの儀式の記録を保存し、これ等大切な神

聖な記録が回想録として代々伝えられるようにすべきである。家族員の生涯に於ける重大な活動、例えば伝道に従事したとか教会又は社会に於ける責任ある地位、またその生涯に強い影響を及ぼした経験等も記録すべきである。この目的の為にパーソナル、レコード、シート（個人記録）が用意されたのである家族の各人に就て記録すべきである。

ファミリ、レコードの整理法

ファミリ、レコードに整理されるべき標準フォーム（「ベディグリーチャート」、「ファミリ、グループ、シート」、「パーソナル、レコード、シート」）の整理の方法に就ては家族記録係の好みによる。然しながら経験は、ファミリグループ、シートの整理は、一枚一枚の上の夫の名を基礎にアルファベット順にそろえるのが最も実用的であることを示している。

各ファミリ、グループ、シートにより容易にその血族関係が参照される。即ち完全に記入された各シート上では夫と妻、両者の先代及び後代が参照される。如何なる新しいファミリ、グループ、シートが得られても単にアルファベッ

ト順によってそのファイルの中に挿入する事が出来る。若し夫の名が二枚か三枚、同一である場合は誕生日によって年代順に整え早いものを先に持って来る。男又は女が一度以上結婚した場合彼は彼女又は各結婚毎に異ったシートの上に記入される。夫が一度以上結婚した場合結婚の順序に従って、最初の結婚が一番先に入れられる。女の一度以上の結婚がある時は各夫の名に従ってファイルされる。

ベディグリーチャートは番号をつけ、表の上に設けられた、空所に適当な数字を入れる事により接続表が参照される。それから表は索引として用いられている表番号順に従って整えられる。

パーソナル、レコード、シートはその表に記載されている各人の名に依り、ファミリ、グループ、シートを調整した時と同様の方法でアルファベット順に整えられる。或者にとつてはパーソナル、レコード、シートを、その参照となるファミリ、グループ、シートの直接、後に置いた方がよいかも知れない。如何なる探求者又は記録者によつても、どちらでも容易に参照される方法が許される。

系図記録について

（中央地方部大会指導者会に於ける系図のクラス報告）

四月十二、十三の両日に亘って千駄ヶ谷区民講堂で開かれた中央地方部春季大会の十三日の夜の指導者会に系図のクラスを設け、系図委員会既存の東京北支部、中央支部、西支部の各委員会委員及び東京南支部、横浜、高崎、甲府、前橋、松本各支部より将来委員たる候補者及び系図に熱心な会員求道者をも含めて五十名余りの参加者があり、熱心な質問に時間も不足し、有志会員の系図の関心を高めました。最初に立川のエア・ベイスから特に本クラスの為に出席して下さった、元カリフォルニ

ヤの或ステーク部の系図委員長であったアイソル・ステイヴァンズ兄弟に話をして載きました。彼は教会の初期に荒野を渡ってソルトレークの谷間に入った開拓者達を参照し、彼等が後から来る人たちの収獲の為に貴重な良い種をまいて行ったように貴方たちは今此の地で系図と言う極めて大切ではあるが困難な為、後廻しにされがちな仕事の開拓者として多くの人々の為に良い種をまかねばならないと激励し、この仕事はそれぞれその地方の特殊事情により趣を異にする点もあるが何か質問があれば過去の経験よりして解答申上げると提案され、時間がなかった為次のような二、三の問答で終り次の機会に更にお願することになりました。

問、日本人の場合姓名の記入は姓が先か名が先か

答、名が先

問、夫婦別れして子供が母親と共に生活している場合、子供として親のファミリー、グループ、シートに如何に記載されるか

答、母親が再婚して子供が再婚の夫の養子となっている場合、

合、実父と養父の両ファミリー、グループ、シートに記入して提出し、結び固めは本人の希望をも斟酌し生者の場合は大管長会、死者の場合は系図協会長又は神殿の管理会長の決定による。母親が再婚して居ない場合は当然、実父のファミリー、グループ、シートだけとなるが、若しその子供が母親の姓に変更している場合は母親の姓で記入する。

ワルゼン姉妹は御両親の代より系図の専門家として日本人の為に系図のテキストを作成され（これはその内に訳し度いと思つて居ります）今度も伝道部系図書記として特に系図の方を指導御世話下さるのことに非常に期待し感謝して居る次第です。

本年度系図のクラスのテキスト「家督権の祝福」は大変遅れて申訳ありませんでしたが今度本部から発売（一〇〇円）される事になりましたから、先祖の救いの為一人でも多くの会員が購読されるよう期待致して居ります。

伝道部系図委員会会長

渡部 正雄

聖典考古学会に働く人たちが熱心な研究家から「貴方は掘っていませんか」と聞かれると云う、これと同様に末日聖徒である貴方は何時も主から「貴方は先祖を探求していますか」と聞かれて居るのであります。

毎日一つでもよいから先祖たちの救いに必要な資料を何か探し求めようではありませんか！

西本兄弟の

系図探求に見習おう

西本兄弟はソルトレーク出身の米軍兵士として目下朝鮮に駐留しているが軍休を利用しては郷里、広島に行つて熱心に系図を探求して居られる。又或親類を訪ねて遠く北海道迄旅し、遠い外国の地に居る縁者には文通を以て探求、写真を取寄せ、一米平方位の大きな紙に立派な写真入りの系図を既に何枚か作成している。系図は約十代程廻り、写真は百枚近くに達している。この写真蒐集には相当力を入れて居るようで、貴重な写真でもらえない時の為に複写用レンズを三つも用意してどんな写真でも集め又訪問された親戚はこの系図表に於ける多勢の親類の写真を見て大喜びで皆に非常に感謝され自分でも親戚を訪問してこの写真入り系図表を見せるのを唯一の楽しみにしているとの事です。

西本兄弟がこの写真入り系図表を持って本部の前でとった写真を掲載する予定でしたがうすくて載せられませんでしたので本部系図図書室に保存して置きますから本部に來られた際は非御覧下さい。

若き末日聖徒の爲の モルモン経物語

エマ・マー・ピーターソン著*渡部正雄訳

才二十五章 悪王ノア

(モーサヤ書才十一章)

ゼニフのレーマン人に対する大勝利は彼の民に平和をもたらした。彼等は主なる神さまに感謝致しました。けれども今やゼニフは老人となり、彼はその王国を彼の息子の一人にゆずりたいと望みました。彼が王様にしようとして選んだ少年は、ノアと云いました。

此の若者は、悪い王になりました。彼は彼の父親のように、主なる神さまに仕えませんでした。彼は自分自身が悪い生活をしたばかりでなく他の人も自分と同様な暮らしをするように教えました。彼等はその王が如何に悪いかを見た時、彼等も彼と同様罪に対して自由であると思ひその為民の大部分が悪くなつて主なる神さまを忘れました。

ノアは自分がぜい沢な暮らしをしたい為にその民に高い税金を課しました。彼は民の財産、穀物、家畜、其の他何でも価値ある物に対して五分の一の課税を致しました。彼の父のゼニフが主なる神さまに仕え、民を治めていた時は善人を祭司に任命して民の集會を司会させました。而るに彼が王と

なつてからは彼はその善良な祭司達をその職から追放してしまひました。彼は彼の罪を非難しないような人を欲しましたが、それ等の人は彼と同様傲慢で悪い人達でした。そこで彼は自分が祭司と名づけた人々に教會を司るように任命しました。此の事は主なる神さまを大變不愉快にさせました。

此の悪い祭司達は民に眞の福音を教えませんでした。却て彼等に偽の教義を教え偶像を造つてその前に礼拝するように民に告げました。この事は更にまた主なる神さまを怒らせました。何故ならば主なる神さまは如何なる人と雖も偶像を礼拝することを禁じて居られますから。

王及びその悪い祭司達は偶像を礼拝することを一般に広めました。彼等はそれは正しい事であると云つて民にへつらいました。多くの者が彼を信じ偶像の前にひざまずきました。

ノアは重税から得たすべての金で彼自身及び祭司やその家族たちの為に美しい宮殿や其他の建物を建てました。彼等は、之等の建築物の裝飾品として金や銀を用いました。

ゼニフは彼の治世の時に神殿を造り民はそこでへりくだつて主なる神さまに祈りました。けれども今やノアはそれを全部変えてしまひました。彼は神殿の中を貴重な裝飾品で飾りました。彼は祭司達の為に高価な席を設けた高価な説教壇を設けました。これ等の説教壇は祭司達が人々に語る時上ることなくそれによりかかたまふ説教出来るように造られておりました。

王の心は富の上に集中され、より多くの富を得ようとしてました。彼は多くの葡萄園をつくり彼は葡萄より多くの酒を造りました。彼はよっぱらいとなり彼の民の中で多くの者が彼の悪い手本に見習ひました。

ノアは神殿の近くに高い塔を建てその頂上に番人を置いてレーマン人の攻撃を見張らせました。番人は町の外にも置かれました。けれども番人の数は充分でなかつたので或日レーマン人が来て番人達を殺し、多くの彼等の家畜群を奪ひ去つて了いました。

そこでノアは彼の隊を呼んでレ
ーマン人を攻撃し、戦場に於て彼
等を打破りました。勝ち誇った彼
の兵士達は彼等のなした事を自慢
しながら戻って来ました。彼等は
人々を殺し彼等の血を流して喜び
ました。彼等は悪い王ノアの教え
に従ってこのような事をしたので
あります。彼等は高慢にも彼等五
十人を以て千人のレーマン人に立
向うことが出来るとうぬぼれまし
た。ノアは彼等にうそをつくのと同
様に自慢する事を教えました。

才 二十 六 章

予言者アビナダイ

(モーサヤ書才十一章と才十七章)

主なる神さまはその民が悪い為に
滅ぼされようとする前に、何時も
彼等を警告しました。或時には大
部分の民が悪い王の為に罪に陥っ
てしましますが、尚彼等の間には
主なる神さまが救おうとなされる
或正しい人達が居りました。

此の事はノアの王国に於てもほ
んと同じでした。悪人を警告し義人

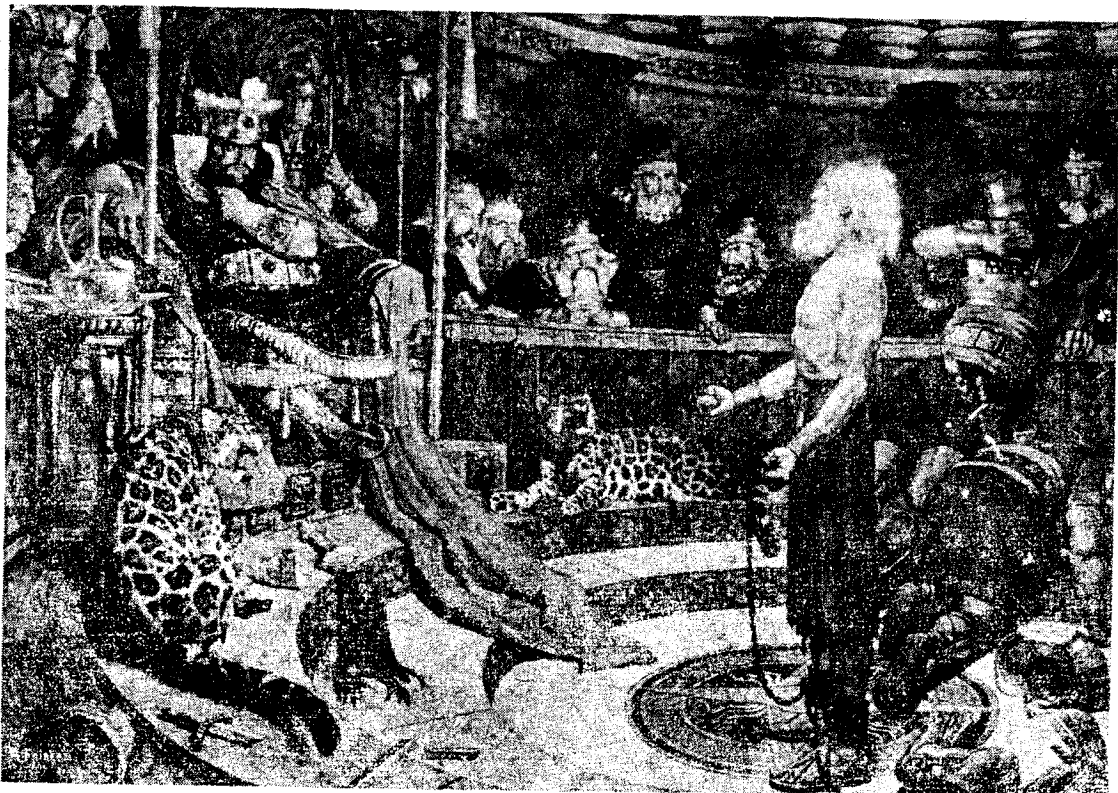
を救う為に主なる神さまは彼等の
間に予言者を遣わされました。彼
の名はアビナダイと云いまし
た。

彼は民に若し彼等が悔い改めなけ
れば彼等の敵レーマン人の手に渡
されるであろうと告げました。民
は彼の云うことを聞きませんでした。
何故ならば、彼等の軍隊はほ
んの少し前にレーマン人を打破り、
大変高慢になり、うぬぼれていま
したから。

アビナダイは続けて彼等に語り
「此の民は悔い改めて主なる神さ
まに仕えざる限り奴隷となるであ
ろう」と言いました。

民はアビナダイに対し大変怒っ
て殺そうとしましたが主なる神さ
まは彼を守りました。ノア王が、
彼が説教していることを聞いて自
ら彼を殺そうと思ひ、衛兵に彼を
捕えて彼の処に連れて来るように
命令しました。予言者はノアの計
画を知って隠れました。

二年過ぎて主なる神さまは再び
アビナダイをお遣はしになりました。
今度は予言者は変装致しまし
た。彼は大胆に民に向つて説教し、
彼等がその罪を悔い改めざる限り、
敵が攻めて来て彼等の多くを殺し



其の他残った者を奴隷とするであらうと云いました。彼はあられが彼等の穀物を打ちこわし、また虫が彼等の豆を食べてしまうであらうと予言しました。

再び民は彼の言った事にふんがいました。今度は彼等は彼を捕えて王の前に連れて行きました。ノアはアビナダイを牢屋に入れて祭司達を呼集め彼を如何にすべきか相談しました。祭司達は彼をわなにかけて彼等の律法に反するよ

うな返事をさせようと思つて王に彼を彼等の前に連れて来るように頼みました。そこで彼等は彼を殺すことが出来ると思ひました。けれども彼等が予言者に質問して見ると彼はノアの祭司達が混乱に陥つてしまふ程の叡智を以て語りま

した。アビナダイは祭司達を非難しモーセの教えを以て彼等に説教をしました。王がこれを聞いて「こいつを連れ出して殺してしまえ」と言いました。

祭司達はアビナダイを捕えようとしましたが、彼は「我にふれるな、若しお前らが我が体に手をふれたら神はお前等を打つであらう。何故なら我はまだ主なる神さまか

ら言いつけられた伝言を伝え終つていないから、だから神は今私が滅びることを許し給わないであらう」と叫びました。

この事はノアの祭司達をびっくりさせ彼等は彼にふれませんでした。主なる神さまのみたまが彼に下つて彼の顔は丁度モーセが主なる神さまと山で語つて下りて来た時と同様大いなる光に輝いていました。

彼が再び語つた時、王と彼の民はこれを聞いて恐れしました。アビナダイはノア王と彼の民が偶像を拜んでいたのを知っていました。そこで彼はそれを止めるように命じました。

「お前等はどんな形にせよ、自分の為の偶像を造つてはならない。上は天にあり下は地にある如何なる物でもお前らはその前にひれ伏してはならない。またそれに事えてはならない」と彼は宣言しました。

アビナダイが王やその民に注意したように、偶像を拜む事は常に神の眼の前に罪であります。彼はまた彼等に主なる神さまの名を無駄に呼ぶことのないように、また安息日を守るように告げました。

更に彼等が両親を敬うよう、またうそをついてならない、盗んだり貪つたり殺したりしてはならない事を言いかけました。

彼は王と祭司達に向つて「貴方たちはこれ等の誠命を守るように民に教えましたか？否、教えないのでしよう。若し教えたなら主なる神さまは私を遣わして貴方たちに就て悪い事を予言させはしなかつたでしよう」と尋ねました。

アビナダイはそこで救主の来ることその名はイエス・キリストと呼ばれるであらうこと、彼は民の間に多くの奇蹟を行うであらうこと。そして最後に死ぬけれども復活するであらうことなどに就て語りました。

彼は若し民が福音を信じイエスをキリストとして受入れ、彼に仕えるなら彼等はその罪から許されるであらうと説明しました。彼は裁判の日に就て告げ、すべての人は自己の罪の為に罰せられるでしようと言いました。そして更に「

今や貴方たちは貴方たちの罪を悔い改めるべきではありませんでしようか？」とつけ加えました。予言者アビナダイが語り終るとノア王は祭司達に彼を殺すように

命じました。彼等は兵士達を呼んでその判決を下す間、牢屋に入れました。

三日後に彼等は彼を呼出して「我等はお前の罪惡を發見した。その罪は死に価いする」と言いました。

彼等の非難はアビナダイが前に、神の子が世に生まれるであらうと言つた事にありました。彼等は彼に若し彼がこの言葉を取消すなら、彼を死刑にはしないけれど取消さないなら殺すであらうと言いました。

アビナダイは恐れずに「私は私の言つた事が真実であるから取消すことは出来ない、私は殺されようとも私の言葉を取消さない。その言葉は貴方達の前に証詞となるでしよう」と言いました。

この時、臆病なノア王は大変驚き恐れしました。彼は自分の生命を救う為に予言者を許したいと思ひました。ノア王はアビナダイが彼は罪の為に死ぬであらうと予言した事を思出して死を恐れしました。けれども祭司達は「彼は王に叛けり」と言いました。そしてこの言葉が王を怒らせ、彼はアビナダイの死刑を命令しました。

彼等は彼を縛り打ち、彼のまわりに火をつくりました。炎が彼を焦がし始めると彼は、「汝等は、我になしたと同じように汝等の敵によって捕えられ、我が火による死の苦しみと同様の苦しみを受けるであろう」と叫びました。

彼は神に祈って「我が靈魂を受けよ」と言つて死に火の中にたおれました。

主なる神さまの他の多くの予言者と同様彼は彼の血を以て彼の証詞を結び固めました。彼は最後迄主なる神さまに忠実で主なる神さまが彼に与えた誠命を否定するよりもむしろ炎の中に死んだのであります。

彼は最後の言葉として悪人共に彼等はその罪の為にあらゆる種類の病苦を受けすべての者に打ちたれ畜群がどうもうな野獣に追散らされるように追散らされるであらうと言いました。

才二十十七章

アルマは改宗した

(モーサヤ書才十八章、才二十三章才二十四章)

ノア王の祭司の一人が殉教した予言者の言つた言葉を信じました。彼の名をアルマと言いました。王

がアビナダイを殺そうとした時、アルマは釈放するように頼みました。この事は王を怒らせ、王はアルマをも殺すように兵士達に命じました。けれども忠実な若い祭司は逃げてかくれました。

アビナダイの言葉がまだ記憶に残っている内にアルマは、彼が聞いた予言者の言葉すべてを書き記しました。

それから彼は秘かに民の間に行つてアビナダイの事を告げました。彼等のうち多くの者が彼の伝言を信じました。

町からそう遠くない処にモルモンと云う処がありました。アルマは説教している処を王に知られたら殺されると云う事を知っていましたので彼に従う者を連れてモルモンの地に行つて集会を開きました。集会を開く度にその数は増して、間もなく二百名以上となりました。或日アルマはモルモンの地の美しい泉を指して彼の人々のバプテスマに就て説教し始めました。

彼は彼等に若し彼等が真に主なる神さまに仕えたいと思うなら彼等は献身の徴としてバプテスマを受けねばならぬと告げました。彼は彼等にバプテスマによって主なる

神さまと、主なる神さまに仕えその誠命を守ることを誓約するようになすめました。彼がこれ等の事を言つた時民は大変喜びました。

主なる神さまはアルマと共にあり、彼がバプテスマをほどこすことが出来るよう彼に神権を与えました。最初にバプテスマを受けようとした人はヒラムと呼ばれました。アルマは彼を伴つてモルモ

ンの水中に入り「我は全能の神より神権を受けたから汝が肉体の死ぬ迄神に仕える事を神に誓約した証拠として汝にバプテスマを施す」と云いました。そこで彼は彼を水中にしづめて再び水中より引上げました。つづいて他の者がバプテスマを求めて来ましたので彼は一人一人バプテスマを施しました。その時二百四人の者がバプテスマを受けました。町に住む他の者達もアルマの教えを聞いて信じバプテスマを求めて来ました。

バプテスマを受けた人々は教會を組織しその教會をキリスト教會と名づけました。主なる神さまから権能を授けられたアルマは急速に發展して行く彼の集会のうちに五十人毎に一人づつ祭司を任命しました。彼は彼等に民に説教する

権能を与えました。けれども彼は彼等にただ予言者に教えられた事だけを教えるように言いました。

或日、王のスパイがアルマの集会を知つて悪王ノアに告げましたので王は教會の會員達を殺そうとして兵士達を送りました。アルマは、兵士達が来た事を警告し彼の民を伴つて荒野に行きました。四百五十人の者が彼に従いました。

彼等は八日間の間旅をつづけつと水がたくさんあるよい耕作に適した土地に來ました。そこに彼は彼等の家を造りました。間もなくレーマン人の軍隊が彼等の境界近くに來たのでアルマの民は殺されるのではないかと恐れしました。けれどもアルマは彼等の中に立つて若し彼等が忠実であるならば彼等の生命は救われるであらうと言つて力づけました。

主なる神さまはレーマン人の心を柔げました。アルマと彼の従者たちはレーマン人達と語り合いました。彼等は軍隊が興味を失つてニファイの地に歸りたがっている事を知りました。レーマン人達はアルマに若し彼が彼等にその帰る道を教えたら彼の民を害さないであらうと告げました。

そこで平和のうちにアルマ達を残して行軍して行ってしまふ代りに、レーマン人達はその主力がニーフアイの地に行っている間兵士を置いて彼等を番させました。

レーマン人の番人達はその捕虜に對し不親切でした。アミユロンと云う男もひどく彼等を取扱いました。彼はノアの王国を去ってレーマン人達と一緒にゐたニーフアイ人でありました。彼はアルマを知つて居りアルマがノア王の祭司でありアピナダイの教えを信じていた事を憶えて居りました。アミユロンはアルマと彼等を非常にざんこくに取扱いました。

アルマの民はその身の上にふり
かかつて来た奴隷の境涯より脱し
て自由の身にならうとして声高く
主なる神さまに頼みました。アミ
ュロンは彼等の祈りを聞いた時止
めるように命じ、番人を置いても
う誰もお祈りしないかどうか監視

アルマと其の民はそこで声を出して祈ることを止めましたが沈黙のまま前よりも一層お祈りを致しました。すべてを知る主なる神さまは彼等の心のうちを知り給ひ、彼等の祈りに答えられました。

主なる神さまは彼等に語つて「頭を高くあげて心に慰めを得よ。我は汝らが我と結びし誓約を知る。我は我が聖徒らと誓約を結びてこれを奴隷の境涯より救はん。我はまた汝らの肩に負わせたる重荷を軽くし汝らが奴隷である間にさえ背にその重さを感じざらしめん。」と云いました。

主なる神さまはそこでアルマと彼の兄弟達を力強くさせましたので彼等にはその荷が軽くなり彼等はその仕事をたやすく致しました。彼等は主なる神さまが彼等をレーマン人から解放して下さる日を辛抱強く待ちながら毎日働らきました。彼等はほんとうに忠実で辛抱強かったので主なる神さまは再び語り「心に慰めを得よ。我は明日汝らを奴隷の境涯より救わん」と

主なる神さまの言われた事を信
じつつアルマと彼の民はすべての

彼等の畜群や包糧を集めてレーマ
ン人より逃げる準備をしました。

朝主なる神さまは番人達を深い眠りに陥らせ、彼等が眠っている間にアルマの民は急いで荒野に行きました。彼等は終日旅をつづけて夜に彼等がその奴隷の境涯より彼等を救出したアルマにちなんでア

ルマと名づけた谷間に來ました。彼等は心から感謝して谷間で主なる神さまの大いなるお恵みに対する神さまの祈りを捧げました。ただ親たちだけでなくやと言葉を語る

主なる神さまは再びアルマに話
 して「汝と汝の民は急ぎてここを
 のがれ去れ。レーマン人はすでに
 目を覚まして汝らのあとを追えば汝
 らここをのがれ去れ。我はレーマ
 ン人が汝の民を追いてここを通り
 すぎないよう、レーマン人をこの
 谷にて止むべし」と云いました。

此の注意を聞いて彼等は再び旅をつづけ荒野を十二日間歩きつづけました。そして遂にゼラヘムラ市に至り其処でモーサヤ王に喜び迎えられました。

ニ ュ ー ス 欄

室蘭の支部大会

MIA大会は三月二十九日夜六時三十分より梅津兄弟司会の下に始められた。当日は大変寒い晩でしたが、多くの会員、求道者、札幌支部からエリス地方部長ほか三人の長老も出席され、楽しい雰囲気の中に子供達の「春が来た」の劇と二、三のゲームを行い初春の一夜を過ごす。

翌三十日は九時から神権会、扶助協会が行わる。十時半から一般大会（大会テーマ教義と聖約一〇九章七節〜九節）が開かれ、三人の兄弟姉妹から有益なお話を聞く、午後〇時半から聖餐式が始まりエリス地方部長から「伝道は日常生活に於ても行われている」のお話がありました。かくして主の恵みのもとに過ぎましたことを心から感謝致します。

◎二組の婚約発表

三月三十日、ファイアサイドに

於いて当支部としては最初の会員同志、小野寺兄弟と吉川姉妹、大場姉妹と札幌支部の藤田兄弟の婚約の発表がありました。席上会員を代表して石井兄弟、高根姉妹から良きモルモンの家庭を築くようにとのお祝いの言葉があり、支部一同は心よりこの二組の祝福をお祈りいたしました。

◎ハイキング、北海道へも春がやって来ましたが、そこで四月二十九日洞爺湖へのハイキングを楽しく致しました。（川崎 英 三）

新たに群馬支部誕生

前橋、高崎両支部は四月三十日合併されて、新たに「群馬支部」として誕生した。群馬支部の所在地は群馬県高崎市並榎町二七五前高崎支部のあったところである。新誕生の群馬支部は面目を一新して強化されたもので前橋、高崎富岡の各地域が一本化され将来の発展に躍進に期待さるるもの多く

総ての集会は高崎において催されるが、前橋と富岡でも毎月一回それぞれ聖餐式を開くこととなった。群馬支部長はフランク長老である。

横浜支部の発展

三月に入って、横浜支部は大きく進歩を始めました。二日（日）の証詞会には時間が足りなく、司会者も嬉しい悲鳴をあげる始末でした。八日には、神権会主催の「建てよう会」が行われ、甘すぎる程のオハギをおいしくいただいた。ついで、宣教師のハグ姉妹が札幌に転任され、クルック姉妹がこられた。

四月に入って、桜のシーズンを迎え、子供日曜学校で、東京都と神奈川県の境を流れる多摩川堤へピクニックに出かけました。これでやっと本当の春が来たという感じを皆が持ったようでした。五日には立川の駐留軍を訪問して、パーティーを開き、東京と合同で、にぎやかでした。

十三日の中央地方大会には当支部からも多数出席しました。十九日（土）には、支部でモイヤー兄弟と新井栄子姉妹の結婚式が和やかに春の陽をいたゞいて行われました。この日は、大空では金環食（ゴールドデン・リング）が見られ、天地共々、大いなる祝福があったと皆で祝いました。

岡町支部の動き

四月五、六両日、神戸三の宮支部に於て南中央地方大会開催せられた。名古屋、金沢、岡町、西宮三宮の六支部の会員及び求道者、多数集合、東京伝道本部より、アソンドラス伝道部長御夫妻が御出席下さった。久しぶりにお逢い出来た者達お互いに手を取りあって感

激す。五日の指導者会には今度始めての「系図の会」の部も設置され、金沢支部の宣教師、ワルゼン姉妹より種々委しく説明せらる。二十四日、MIAのオープンナイトにて演劇部の各員により、リアホナを上演せらる。

当時の衣装そのままの物を造りて皆々の特別力演に観る者達大いに感動す。

四月二十六日、次の如く新任さる。

村上道子姉妹 子供日曜学校

オルガニスト

江見和子姉妹 子供日曜学校

書記

この午後六時半より、日曜学校の主催にて食べよう会開催、西宮支部より杉原兄弟特別出演によるフルート演奏あり、次におなじみの上野山兄弟の手品、ゲーム等、多数の出席者にてにぎやかに楽しく春宵一刻、価い千金と云う時をすごす。(阪本幾代)

甲府の送迎会

(送別) 四月二十二日の日曜学校でシモンズ長老の甲府支部長から中央地方部長への転任が発表され

ました。そして長老からお別れの挨拶に什分の一について、各々の責務についてのお話がありました。(祝福) 二十日、日曜学校の会長清水兄弟の子供ひとしちゃん(一九五八年二月二十四日誕生、生後五十六日)はシモンズ長老の按手によって祝福されました。

(歓迎会) 二十七日、後任宣教師として岡山からライト長老を迎え、五月五日に任期満了して帰国なさる、伝道部書記アイラ・テルソード長老、才二副伝道部長ノーマン・シヤムウエイ長老を迎えての素晴らしい集りでした。ライト長老から強い証詞を持って挨拶があり、テルフォード長老は教義と聖約の百五章を引照して神の愛について語られ、シヤムウエイ長老は神の真の教について人生の目的が語られ、いずれも証詞に満ちた最も良きお話を伺う事の出来たのは幸でした。夜、七時からフアイヤーサイドを開き、始めに、ライト長老、シヤムウエイ長老、テルフォード長老からお話があり、兄弟姉妹、求道者の教会へ入った動機について、人一人語り合いました。次いでマロン長老によって「春の甲府」がマライドカラーで上映されました。

(十七名)

(レコードコンサート) 渡辺姉妹の司会によって開かれ、田中兄弟の解説に楽しく和やかな一時を送ります。

教会堂の敷地に馬鈴しよを

植付ける群馬支部

五百坪の広さの土地を買い増した高崎支部(今は群馬支部とな

りました。(三十七名) (レコードコンサート) 五月三日、子供達

のピクニックで昇仙峽へ行く予定(早川蘭子)



る)では教会堂が出来るまで土地を遊ばして、のはもったいないとばかりに、信者宣教師と協力してなれない手つきで、馬鈴しよの植付をした。「オジャガ」などと上品の言葉しか知らない姉妹や、務めの兄弟達は早起してこの労働奉仕に喜んで参加した。

おかげで信者達の信仰は一段と強まり、さらに六月下旬には約一千貫の収穫が見込まれるというのである。

(四月三十日現在)

新王也
句二也

新任地	前任地
東京中	東京西

東京西
前橋

東京南
前橋

韓国 東京南

岡
町
横
浜

横浜岡町

東京北西宮

西宮 東京北

那霸本部

七

長老

1

神權支部

執事岡町

祭司
岡
山

祭司
旭
川

教師
札
幌

高木	土屋	上野	筋田	丸山	宮良	プ テ ス マ	千鶴子	承子	嘉子	かない子	フ美夫	武垣	尉子	秀秋	誠一	宏己	道子	和雄	広利	恵美子
あきら	彦	男	三俊	兵衛	毅		仙台	札	三	旭	旭	旭	川	川	福岡	普間	廣島	岡町	小樽	小支
執事	教師	長老	長老	執事	執事								支部	支部	支部	支部	支部	支部	支部	支部
福岡	松本	仙台	西宮	東京中	那覇								支部	支部	支部	支部	支部	支部	支部	支部

小	小	小	岡	岡	広	普	福	福	旭	旭	旭	旭	旭	三	札	仙	ス	毅	兵	三	男	彦	ら
樽	樽	樽	町	町	島	天	岡	岡	川	川	川	川	川	宮	幌	合	マ	執	執	長	長	教	執
支	支	支	支	支	支	間	支	支	支	支	支	支	支	支	支	支		事	事	老	老	師	事
部	部	部	部	部	部	部	部	部	部	部	部	部	部	部	部	部		那	東	西	仙	松	福
																		京	宮	台	本	岡	
																		中					
																		覇					

加藤	篠原	青柳	石田	新保	高橋	菊地	当真	当真	徳元	片山	上山	住田	鈴木	米田	本橋	磯田	花田
よう	美奈	恵子	ヒロ	けい	行男	良彦	徳任	初男	京子	実次	正久	中穂	喜代	美妃	公一	昌宏	春江
子	子	子	子	子	子	子	子	子	子	子	子	子	子	子	子	子	子
東京	東京	甲府	前橋	前橋	松本	室蘭	那覇	那覇	西宮	東京	東京	東京	東京	東京	東京	東京	東京
中支	中支	府支	橋支	橋支	本支	蘭支	覇支	覇支	宮支	北支	北支	南支	南支	南支	南支	西支	西支
部	部	部	部	部	部	部	部	部	部	部	部	部	部	部	部	部	部

この外韓国の支部でバプテスマをうけた兄弟姉妹は十一名である。

この外韓国の支部でバプテスマをうけた兄弟姉妹は十一名である。

幼
兒
祝
福

島ノリ子（東京北）四月六日

島
ひろゆき
(東京北)
四月六日

原
さとし（広島）四月廿日

水
ひとし（甲府）四月廿日

日本伝道部の回顧

奈良富士或

四 伝道部閉鎖後の会員 の活動について

一九二四年八月本教会が閉鎖されてから日本の会員の総ては恐らく、神のお恵みが取去られたとの悲しみを受けたことは私と同様であったと思います。当時私は東京で国有鉄道の本省に勤務しておりました関係で信者になってから、札幌は勿論甲府、大阪の伝道支部所在地に張の都度集會に出席して教理や、神の証しをいたしました。従って日本中で私の知らない信者は皆無となったと言っても過言ではなかったと思います。それにステンプソン伝道部長の時代には伝道本部で教会の事務を手伝っていましたし、特に会員名簿の整理、会員証其の他神権に関する聖任証を書く仕事を致しました。

伝道部が閉鎖すると間もなく、

私は独断でした。私達の信仰は、けっして弱いものではなく一層信仰を強め、信者一同結集して日本伝道部の再開を懇願するた

めに東京、大阪及び甲府、札幌在住の全信者宛にその趣旨書を騰写印刷の上発送し、大方の賛成を得ましたのでさらに才二回は日本相互發達會を各地即ち東京を中心に大阪、甲府、札幌に開設し、地域別に信者相互の消息とともに分散せぬように計画し熱心な会員の賛同を得ました。次いで才三回としては私達の相互連絡の機関誌として、毎月「しゅろ」(バルム)

と云うパンフレットを発行し、専ら信仰の冷却を防いで参りました。が遂に力つきて四年位で発行を中止するの己むなきに至りました。然し、東京におきましては、私の家で毎日曜日と云うわけにはいきませんでしたが、家庭集會を致しておりました。

当時集會に出席された方々は私夫妻始め白石源吉兄弟、高木富五郎兄弟、中川工司兄弟、望月謙太郎兄弟等でこれらの兄弟姉妹は健在です。恐らく大阪、甲府、札幌の会員の方々も何等かの方法で集會されていたようです。

「しゅろ」の発行中は各地会員の活動状況を掲載しましたが、大阪では桂鶴一兄弟、札幌では小野謙次兄弟、熊谷たま乃姉妹を中心として活躍しておりました。尤も甲府には米山連兄弟がおりましたが当時ハツキリした消息を聞くことが出来ませんでしたことは残念ですが、一九二六年九月アメリカ本部(ユタ州ソルトレーキ市)からの特使として、太平洋學術會議委員の一人として日本に参りました。

ブリガムヤング大学総長ハリス博士により同年一月日本に相互發達協會が正式に開設されました。私は其の管理長老に聖任されました。私達の感激は言う迄も

ありません。従って直ちに会員相互間の親睦と連絡の爲の機關として活動を始めることが出来ました。東京は勿論大阪、札幌では集會を開き、本教会が日本に再開されることを多に期待し、アメリカ本部との連絡も頻繁に行われました。その当時これが仲介の勞をとられました方はアルマ・オー・テイラー長老(元日本伝道部長)でありまして、テイラー長老によって当時のグラント大管長から私は一九三二年一月日本支部管理長老に聖任され、大神権の有する総ての鍵を与えられたのであります。



トーマス長老とその家族
(右端は塩木兄弟)

す。

然るに当時代の国際情勢はまことに目に余るものがあり、これに禍いされて私は日本国有鉄道の職員として、一九三三年二月支那滿州の広野に鉄道マンとして派遣されるの己むなき事情によって、遂にいと尊い日本支部管理長老の聖職を解任されましたが、一九三五年初頭に後任としてブリガムヤング大学を卒業し日本に帰えられる藤原武夫兄弟を宣教師とし且つ日本支部管理長老として新任し、相当活動されたようですが布教なかばに罹病し其の間約一年にして永眠されましたことは惜みても余りあることでした。

それからの会員間の連絡等は日本の国策に制圧されて自由な活動がなかつたことは云う迄もないことでした。私が満州に在任してからも会員間の通信は新年の挨拶状によってその消息をかるうじて維持しておりました。その間閉鎖時の伝道部長でありましたヒルトン・A・ロバートソン長老は日本に來られる機会を利用して宣教に努力された結果バプテスマを施し、相当成績を挙げられたる由を東京在住の会員から聞きました。

一九二四年から一九四五 年までのアメリカの本部 との連絡

一九二四年八月本教会日本伝道部が閉鎖されましたから私を中心として最初アルマ・オー・テイラー長老に機会あらば再開されるよう、努力を懇願するとともに、会

日本伝道部が閉鎖するの己むなき事情にありまして、これが公表されたことによって、元日本伝道部の宣教師の方々はさぞかし残念なことであつたと思われまふ。従って私達会員は断ち切りの思いでした。しかしながら、神は私達を



六代目伝道部長
ジョセフ エツチ ステンブソン

ろ」を通じて、その目的の成果を期待いたしますとともに、アメリカ本部との連絡、通信は各自思い思いのようでしたが、前項に述べたような結果になりました。

控て給わず、日本伝道部再開への橋渡しとして元日本伝道部長でありましたアルマ・オー・テイラー長老が、当時のグラント大管長の指示によってその一手段として、一九二六年一〇月汎太平洋学術会議委員として日本に参りましたブ

リガム ヤング大学総長スチラー・S・ハリス博士が大管長会の使命と権能にもとずき、同月東京を本部として大阪、札幌の三都市にMIAの開設を正式に許可されました。因みに当時の会長は東京においては奈良富士哉（長老）大阪では桂鶴一兄弟（長老）札幌にあっては小野謙次兄弟（長老）でした。

（註）

奈良富士哉は北部極東伝道部中央地方部東京中央支部長桂鶴一兄弟は大阪岡町支部長会の才一副支部として活躍し、小野謙次兄弟は北海道において教会のために特別な活動はしていないようです。（一九五七年八月現在）

原稿募集

- 一、支部活動状況（四百字詰三枚）
- 一、証詞（同 二枚）
- 一、詩、和歌、俳句（題 随意）
- 一、集会、支部役員等の写真
- 一、切 毎月末日（メ切厳守）
- 一、送り先 港区麻布広尾町十四
- 末日聖徒イエス・キリスト教会

編集部

詩藻

「歓喜」

仙台 上野道男

この喜び、何という歓喜だ！

モーセと共にイスラエル人の中からとり上げられたこのメルケゼデク神権が

中世の背教と共に天にもどされたこの大神権が

このような愚かでない一介の学生のこの青二才に

この未熟な者に与えられたのだ

ああこれであの心から愛するあの人と共に永遠に結ばれる

あの神殿の結婚を受ける大きくて大事な一つの資格を得たのだ

更に天国の扉は大きく開かれその奥義をもっともっと深く

知ることができるのだ

イエスがキリストであるとおどりするような喜びの証を

させる聖霊を授ける按手礼も

神の祝福が神の御導きが永くあるようにとの子供達への祝福も

苦しむ悩む病人を治すこともできるんだ

デキルンダゾーと大声で叫びたくて胸が一杯だ

こんなにすばらしい権能が馬鹿でいつも間違いを犯す弱い私に

この私に授けられたのだ

もっともっと自覚をもって大神権者にふさわしい態度をもつように

神よ、我等の父よ、このか弱い子供に力を与え給へ

感謝、感謝、ただ感謝あるのみ

ああこの喜び、ああ何という歓喜だ

長老に聖任された日の日記より

「夜の岸辺にて」 福岡青木邦子

夜の岸辺に波の音聞きつ
われにささやくその言葉は
今はなき母のやさしきさとしか

みそらに かがやく星にたとえ
われは求めし その光を
永久に とわに忘れゆかん

夢にも呼ぶ いとしの名を
想はただ神の愛のみ
夢も命も君のためすてん

「祈り」

東京中央 細谷 ふさ子

神よ！

あなたは、私のすべてを見透して
いらっしやいます。

よしそれが偽善で被い虚飾で装うとも……。

善も！悪も！ 時には真理さえも

自信を失いかける日

私は人間のよろさにどうこくする。

ある時は吹きすさぶ嵐のように

ある時は水に浮ぶ泡沫のように、

強く弱く明滅する信仰の灯

神よ！

み手にゆだねしすべてなれば

み名をさがめて

さわがぬ心を与え給え。

「二十四の夏」

東京北 高木 とみごろう

西支部の句会 (四月廿日)

早 水 び け の タ べ も あ れ ば 草 花 に
 二 十 四 の 夏 の か た み に 夜 店 に て
 半 月 あ ま り た よ り 送 ら ず ち は は
 か い か に あ ら ん か と 心 や す ま ず
 一 父 と な り し を ほ さ ぬ か た み に
 友 わ れ は さ び し く 妻 と た わ む
 生 は み な 薄 命 な り き わ れ の み が
 す や す や と 寝 入 る か が 児 を い だ き あ げ
 ほ ほ ず り し た る 朝 の し ず け さ
 大正六年の日記から

五 点
 四 点
 三 点
 二 点
 一 点
 我 が 家 へ と 急 ぐ 足 元 お ぼ ろ 月
 雪 解 け の 雨 垂 れ 落 ち 若 芽 萌 ゆ
 外 国 の 友 の 寝 息 ゼ 梅 の 散 る
 庭 す み に 無 名 の 花 の 独 り 咲 き
 萌 え 出 す 草 に 気 使 い 廻 り 道
 帰 り 来 て ふ と た ち ど ま る 沈 丁 花
 コリガン姉妹
 野村兄弟
 浅田長老
 桜井姉妹
 小室姉妹
 小室姉妹

「詩」

夕暮に寄せて

ウィリアム・コリンズ作

麦笛の調べ、牧場の歌が
 清らかな夕暮よ、つつましいその耳に
 あなたのおごそかな泉と
 消えゆくそよかぜのように心地よくひびくなら、
 内気なニンプよ、今輝く髪の太陽は、
 西のテントのうちに坐し、雲の裾は、
 靈妙なる打ひもにて織りなされ、
 波のふしどにかかるとき。
 あたり静まり、たゞ目の近いこうもりが
 鋭く鳴いてハタハタと皮の翼を振る
 またかぶと虫が

(三点)
 春の宵文書くペンもとだえがち 岡本姉妹
 (二点)
 春雪へ好意の傘の柄に温み 鈴木兄弟
 伝道の実り喜ぶ水温む 浅田長老
 静か夜の雪に天使の舞う気色 鈴木兄弟
 木々の間にはのかに煙る落葉たき 鈴木兄弟
 ハイカイに夜通し悩みし春の朝 ブラック長老
 茶摘する乙女の顔の見えがくれ 野村兄弟

たそがれ時の山道に
小さい陰気な笛吹いて、
鼻うたうたい、ぼんやりと
道行く人を悩ますところ、
さて教えておくれ、心静かな乙女よ
やわらかな調べのささやきを、
その調べ、暗い谷間をひそやかに
その静けさに和するよう、
思いをめぐらし、私はやさしいお前のもどりを祝うとき！

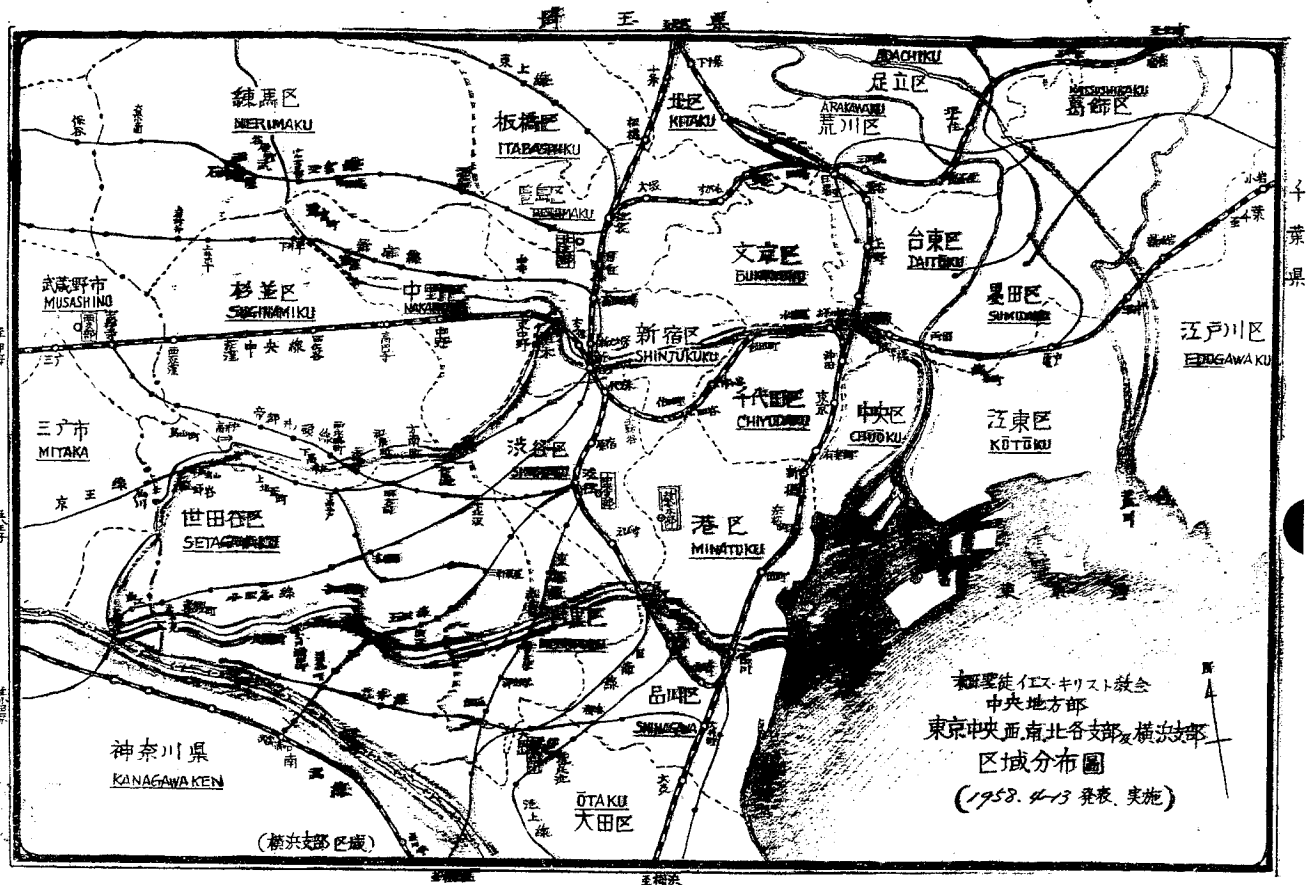
羊をかえす星があらわれて
青白い環をえがくとき

報せの明りに気がついて、
香わしい時の女神と、日のうちは花に眠るよう精たち
それにあまたのニンフたち、額にすげを飾りつけ
清らかな露を滴らし、すがたいやます美しさ、
この物悲しく、美しいよろこびは
あなたの暗い車の支度する。

お連れ下さい、静かな聖女よ、ひろびろと
ひろがるみずうみのさびしくしげるヒースを慰め
また太古の面影秘めし堂塔、
灰色の丘など最後の冷やかなあかりを映すところに。

だが、冷たく吹く風、しぶく雨に
足止めされた、その時は、
山の腹より、荒地と出水を、
かつ色の村々と目もはるかな尖塔を見は
して清らかな鐘を聞き、すべての上に
露けき指がしずしずと
宵のヴェールをかけるのをみる、
あの小屋が私の宿。

春がまたしゆう雨を降らして
あなたの息づく髪を濡らす時、やさしい夕暮よ、
夏があなたの消えやらぬ明りに遊びたわねれる時、
たそがれの秋があなたの膝に葉を落し、
さわがしく大気ふるわす冬が
あなたの脅えた供をおどかし
手荒くあなたの衣をさく時、
常にかわらずあなたの木蔭の下に、
幻想と友情と学問と
赤い唇の健康は、
あなたのやさしい力を認め
その名をたたえてうたう。



私は昨日よりも今日、より一層賢
くならなかったような人あまり
関心をもたない

アブラハム・リンカン

何かより大きな事をなさんとする
偉大なる希望が彼の魂の扉を永久
にたたくなくなったら終りである

フィリップ・ブルークス

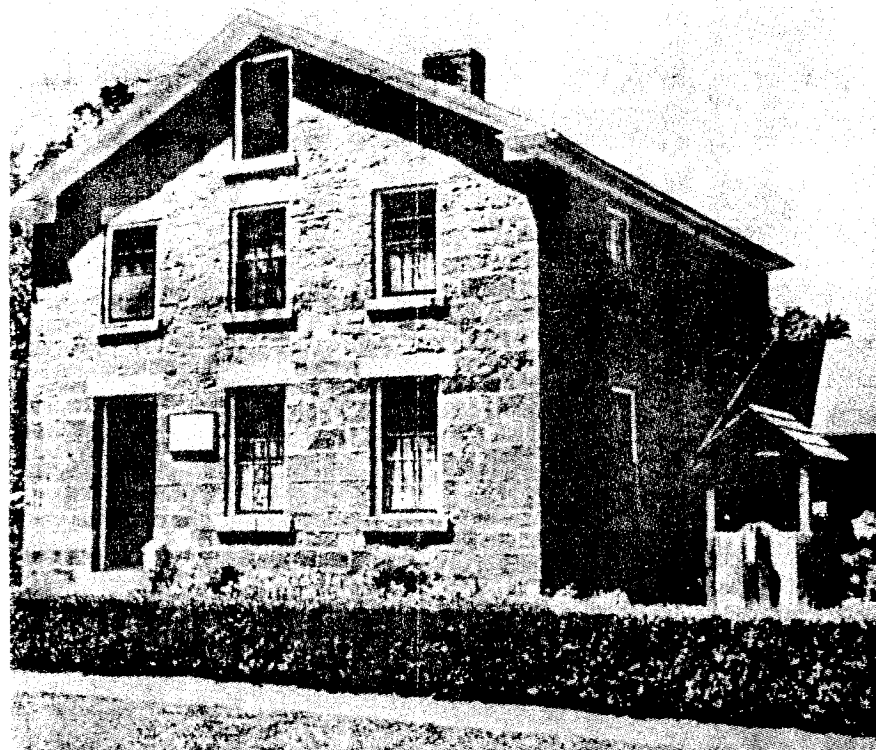
編集言

◎マツケイ大管長が「先ず神の国
と神の義とを求めよ」と、私た
ちにすばらしいメッセージを下
さいました。

「求めよ、さらば与えられん」
とは古今の真理であることを改
めて考えて見ようではありません
か。

◎三月末には伝道部才一副伝道部
長ウエルチ長老が帰米され、五
月五日には才二副伝道部長シャ
ムウエイ長老が帰米された。お
二人とも素晴らしい日本語習得
者でしたから彼の地でも日本伝
道のために大いに助力して下さ
ることと期待しています。

◎聖徒の道は月を追うて整備され
て参ります。
そこで原稿や写真はメ切日を厳
守して送って下さい。
おくれると次号に割愛すること
になりますから……。



カーセーチの牢獄 射たれた時、ジョセフ・スミスは二階の窓から建物の側に落ちた

一八四四年六月廿七日、イリノイ州カーセーチにて予言者ジョセフ・スミスとその兄弟大祝福師ハイラム・スミス殉教せり。この事実を記憶するため下に『教義と聖約』よりの言葉を引用す。

主の予言者にして聖見者なるジョセフ・スミスは、ただイエス・キリストを除くのほか、この世に生を受けたる何人よりもこの世に於ける人類の救いに尽したり。僅々二十年の短日月に、モルモン経を世に出してこれを神の賜物と力とによりて翻訳し、東西両大陸にてこれを刊行する媒ちとなれり。また世界の四極に至るまで、この書に載せたる完全なる福音を弘め、人の子らのために『教義と聖約』なる本書を構成する啓示と誠任並びに他に多くの智慮ある文書と教訓とを世に出せり。また、幾千の末日聖徒を集め、一大都市を建設して朽つる能わざる誉と名声とを遺せり。彼は神とその民の眼前に偉大なる生涯を送り、偉大なる死を遂げたり。而して、昔主の聖任したまいし者らのほとんどすべてが然ありし如く、彼の使命と事業とを己が血を以て結び固めたり。彼の兄弟ハイラムもまた然り。両者はその生くるや形影相伴い、死ぬるやまた相共に倒る。